

平成 21 年度当初予算 施策別概要

211 地域の实情に応じた多様な雇用支援

(主担当部：生活・文化部)

- 21101 若年者の雇用支援 (生活・文化部)
- 21102 高齢者、障がい者等の雇用支援 (生活・文化部)
- 21103 雇用施策の地域展開 (生活・文化部)

< 施策の目的 >

- (対象) 働く意欲のある人が
- (意図) 就労している

< 施策の数値目標 > 20 年度実績値は 1 月末現在で把握できる見込み値を示しています。

施策目標項目 (主指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
県内失業率	目標値	-	2.6%	2.6%	2.5%	2.4%
	実績値	2.7%	2.6%			

15 歳以上の就業が可能な人口のうち、仕事を探している人および求職活動の結果を待っている人の割合

県の取組目標項目 (副指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
県の雇用対策事業により支援した人の就職率	目標値	-	33.1%	34.4%	35.8%	37.1%
	実績値	31.7%	33.4%	32.0%		
県が実施する若年者の雇用対策事業により支援した若年者の数	目標値	-	33,000 人	33,000 人	33,000 人	33,000 人
	実績値	32,925 人	33,025 人	33,000 人		
県の障がい者雇用対策事業により支援した障がい者の就職率	目標値	-	54.0%	55.4%	56.8%	58.3%
	実績値	52.6%	68.1%	65.3%		

< 進捗状況 (現状と課題) >

- ・ 米国発の金融危機や円高の影響による景気の急激な悪化に伴い、県内の有効求人倍率は平成 20 年 10 月には、ほぼ 5 年ぶりに 1.0 倍を下回りました。今後も雇用情勢はさらに厳しさを増すものと懸念され、離職を余儀なくされた非正規労働者等への支援をはじめ、雇用の安定と創出に向けた緊急に取り組むべき対策が求められています。
- ・ 求人・求職のミスマッチ等雇用に係る実態感には依然として厳しいものがあり、特に、若年者では、高校や大学新規卒業者の就業後 3 年以内の高い離職率、フリーターや無業者数が高い水準で推移している等の課題があり、勤労観や職業観の醸成、キャリア形成能力の向上等を促進していく必要があります。
- ・ 高齢化の急速な進展等により、働く意欲のある高齢者の安定した就業機会を確保する必要があるとともに、障害者自立支援法の施行により、障がい者の就業に向けた自立支援システムの確立が求められており、法定雇用率達成に向けた取組の充実が必要となっています。
- ・ 雇用施策は、経済団体、市町等が果たす役割も大きいことから、地域の多様な主体が協働し、地域の实情に応じた雇用支援の取組が必要です。

<平成21年度の取組方向>

早期の就職支援に向けた職業訓練の実施や相談体制の充実をはかるとともに、国の「ふるさと雇用再生特別交付金」及び「緊急雇用創出事業臨時特例交付金」に基づき創設された基金を活用し、地域の実情に応じた雇用の安定と創出に向けた取組を進めます。

若年者の雇用対策では、勤労観や職業観の醸成、キャリア形成能力の向上をはかる取組を中心に、職業相談、雇用関係情報の提供、職業紹介等をワンストップで提供する「おしごと広場みえ」を拠点にきめ細かく対応していきます。

特に、若年無業者等に対しては、家庭、学校、就労支援機関、地域社会といった多様な主体による取組が必要であることから、NPO等と連携して、就労体験の実施、自立支援事業への参加を促すための情報提供を通じて、若年無業者やその保護者が支援機関へ相談しやすい環境づくりを進めます。

中高年齢者の雇用対策では、雇用関連情報の提供や就職面接会の開催、再就職を支援する職業訓練の実施等の取組を進めるなかで、就労機会の拡大をはかります。

障がい者の雇用対策では、事業主への啓発、障がい者とその家族への就労に向けた自立意識の醸成、就職に有効な職業訓練機会の提供に加え、県内各地でジョブサポーターを活用した就労の準備段階から職場定着までの途切れない支援を進めるとともに、国、市町をはじめ、教育、福祉、医療などの幅広い関係機関との連携を強化し、一層の雇用の促進に努めます。

地域の実情に応じたきめ細かな雇用支援策を推進するため、国等の関係機関をはじめ経済団体、市町等地域の多様な主体と連携・協働して雇用施策を進めます。

<主な事業>

(舞) 若者就職総合サポート事業【基本事業名：21101 若年者の雇用支援】

(第5款 労働費 第1項 労政費 1 労政総務費)

予算額：(20) 22,443千円 (21) 25,083千円

事業概要：三重労働局と連携して運営している「おしごと広場みえ」において、雇用関係情報の提供、職業相談、キャリアカウンセリング、就職セミナーの開催、インターンシップの推進、職業意識啓発、職業紹介など総合的なサービスをワンストップで提供します。
(おしごと広場みえの運営、職業相談等の実施)

(舞) 若者自立総合支援事業【基本事業名：21101 若年者の雇用支援】

(第5款 労働費 第1項 労政費 1 労政総務費)

予算額：(20) 10,157千円 (21) 8,079千円

事業概要：三重県若者自立支援センターを拠点として、NPO、高等学校、市町、国等関係機関や地域の支援者と連携して、若年無業者の個人の状態に応じた包括的で継続的な支援の体制を整備します。(三重県若者自立支援センターの運営)

(重) 高年齢者就労マッチング事業【基本事業名：21102 高年齢者、障がい者等の雇用支援】

(第5款 労働費 第1項 労政費 1 労政総務費)

予算額：(20) 6,837千円 (21) 3,055千円

事業概要：高年齢者がスムーズに就労できるように支援するため、就職面接会やセミナーを開催します。(就職面接会 8回開催予定)

(重) 障がい者委託訓練事業【基本事業名：21102 高年齢者、障がい者等の雇用支援】

(第5款 労働費 第1項 労政費 1 労政総務費)

予算額：(20) 31,226千円 (21) 31,519千円

事業概要：障がい者の就職への不安を解消し、円滑な就職を促進するため、障がい者の態様に
応じた多様な職業訓練機会を提供します。(50人の訓練を予定)

(新) 障がい者就労促進サポート事業【基本事業名：21102 高年齢者、障がい者等の雇用支援】

(第5款 労働費 第1項 労政費 1 労政総務費)

予算額：(20) - 千円 (21) 9,112千円

事業概要：障がい者の就職、職場定着にとって重要である「障がい者と事業所とのマッチング」
を支援する雇用アドバイザーを配置するとともに、地域の人材を活用し、障がい者の
就労を支援するジョブサポーターの派遣を社会福祉法人等に委託します。
(雇用アドバイザー1名、ジョブサポーター25名)

(新) 求職者総合支援センター事業【基本事業名：21103 雇用施策の地域展開】

(第5款 労働費 第1項 労政費 1 労政総務費)

予算額：(20) - 千円 (21) 37,729千円

事業概要：緊急雇用創出事業臨時特例交付金を活用し、生活・就労支援のための事業を一体
的に実施する求職者総合支援センターをハローワーク等と連携して設置・運営し
ます。(求職者総合支援センターの設置・運営)

(新) 外国人訓練生支援事業【基本事業名：21103 雇用施策の地域展開】

(第5款 労働費 第1項 労政費 1 労政総務費)

予算額：(20) - 千円 (21) 6,311千円

事業概要：緊急雇用創出事業臨時特例交付金を活用し、津高等技術学校において、日本語の
読み書きに課題のある外国人訓練生に対して、日本語学習、資格取得、就職等の
支援に向けた体制づくりを行います。(外国語に堪能な相談員 2名配置)